

令和4年6月24日

株主各位

名古屋市中区錦三丁目6番15号先

名古屋テレビ塔株式会社

代表取締役 大澤 和宏

第69期定時株主総会決議ご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本日開催の当社第69期定時株主総会において下記のとおり報告ならびに決議されましたのでお知らせ申し上げます。 敬具

記

報告事項 第69期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）
事業報告の件
本件は、上記事業報告の内容について報告いたしました。

決議事項

第1号議案 第69期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）
計算書類承認の件
本件は、原案のとおり承認可決されました。

第2号議案 取締役2名選任の件
本件は、原案のとおり承認可決され、取締役に狩野隆也、伯野卓彦の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査役2名選任の件
本件は、原案のとおり承認可決され、神野重行氏が再選され、また、安井香一氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

事業報告

令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期は、全体改修工事を終え令和2年9月のグランドオープン後、年間を通した通常営業の初年度となりました。令和2年2月に始まった新型コロナウイルス感染症(以下コロナ感染)は急激に全国的に広がり、感染者数が増加しました。令和3年度においては、上半期の4月から9月まで、さらに下半期は1月から3月までまん延防止等重点措置、緊急事態宣言などが続きました。その影響により、ヒサヤオドリパークの賑わいも一気に減少し、当社でも営業時間・ライトアップ点灯時間の短縮、展望予約のキャンセルなど展望入場者数の著しい減少となりました。令和3年10月以降の3か月間はすべての制限が解除になりましたが、コロナ感染の影響が続き、わずかな展望入場者数増にとどまり、再び令和4年1月からまん延防止等重点措置が発令され、展望入場者数は年間を通して激減しました。

このような状況の中、令和3年7月より展望イベント「NAKED SKY CRUISING」を令和4年2月まで開催し、夜間における展望の魅力向上に努めるとともに入場料収入の増加を図ってまいりました。また、令和4年元旦には、前年から始めた「初日の出」展望営業をコロナ感染予防に配慮し前売予約の250名限定で行いました。当日は天候にも恵まれ楽しんでいただけました。ライトアップでは「世界自閉症啓発デー」、「てんかん啓発パープルデー」、「ピンクリボン」、「世界緑内障週間」など、また、「煌」を利用したタワービジョンはコロナ感染拡大の影響を受け、利用者が大きく減少いたしました。他インターネット放送局「なごチューブ」などにより、栄地区の魅力発掘とともに情報発信を重点に進めてまいりました。塔内のコロナ感染予防対策として、入口での検温実施、消毒の徹底、マスク着用やソーシャルディスタンスの確認などを継続、来場いただいたお客様により安全で、かつ快適にお過ごしいただくよう適切な措置を行っております。

また、令和3年5月から地域共生活動を積極的に進めるために中部電力株式会社をパートナーとしてネーミングライツ「中部電力 MIRAI TOWER」としてスタートいたしました。SDGsの取り組みとして令和4年3月からCO2フリー「愛知Greenでんき」を導入してライトアップやエレベーター等に活用しております。

この結果、当期における有料入場者数は88,165人、無料を含む総入場者数は277,944人となりました。当期における売上高合計は390,930千円、販売費及び一般管理費合計は320,205千円となり、営業利益70,724千円、当期純利益38,605千円となりました。

令和4年度は、新しい展望事業の開発、地域共生パートナーと連携した社会貢献活動、徹底した経費削減策の推進などに努め経営の安定維持に全力を上げてまいります。とりわけ、コロナ感染への万全な対応を継続するとともにロシアによるウクライナ侵攻により物価高騰など経済面への大きな影響が懸念されるなど「中部電力 MIRAI TOWER」の運営にあたっては、大きな正念場を向かえることとなります。名古屋のシンボルとして新しい魅力を加えるとともに栄地区の活性化の起爆剤として社会貢献できるよう役職員一同全力をあげる決意でございます。引き続き、ご指導・ご支援を賜りますことをお願い申し上げますとともに株主の皆様には、誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますので何卒ご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

令和4年3月31日現在

名古屋テレビ塔株式会社

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 305,012,743 】	【流動負債】	【 186,129,516 】
現金及び預金	300,228,859	一年以内返済長期借入金	135,492,000
売掛金	1,219,710	未払金	5,678,368
未収入金	1,405,752	未払費用	10,349,916
貯蔵品	618,600	未払法人税等	296,500
前払費用	1,251,691	前受金	10,962,202
未収還付法人税等	51,816	預り金	529,630
立替金	236,315	未払消費税	22,820,900
		【固定負債】	【 2,517,675,820 】
【固定資産】	【 2,457,883,535 】	長期借入金	2,305,070,000
(有形固定資産)	(2,420,874,124)	長期未払金	12,300,000
建物	1,565,085,116	預り保証金	180,402,420
建物附属設備	786,432,893	退職給付引当金	19,903,400
構築物	28,826,666	負債合計	2,703,805,336
機械及び装置	2,037,517	純資産の部	
器具及び備品	38,491,932	【株主資本】	【 59,090,942 】
(無形固定資産)	(1,259,084)	資本金	80,000,000
商標権	1,259,084	(資本剰余金)	(223,800,000)
(投資その他の資産)	(35,750,327)	資本準備金	161,900,000
投資有価証券	10,000,000	その他資本剰余金	61,900,000
関係会社株式	750,000	(利益剰余金)	(△ 244,709,058)
出資金	40,000	利益準備金	20,000,000
長期前払費用	24,960,327	その他利益剰余金	△ 264,709,058
		別途積立金	50,500,000
		繰越利益剰余金	△ 315,209,058
		純資産合計	59,090,942
資産合計	2,762,896,278	負債・純資産合計	2,762,896,278

損益計算書

自 令和 3 年4月 1 日

至 令和 4 年3月31日

名古屋テレビ塔株式会社

(単位・円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
入 場 料 収 入	76,048,479	
賃 貸 料 収 入	152,265,397	
広 告 料 収 入	162,616,701	390,930,577
売 上 総 利 益		390,930,577
【販売費及び一般管理費】		320,205,600
営 業 利 益		70,724,977
【営業外収益】		
受 取 利 息 ・ 配 当 金	254,572	
そ の 他	872,771	1,127,343
【営業外費用】		
支 払 利 息	31,947,846	
支 払 手 数 料	1,000,000	32,947,846
経 常 利 益		38,904,474
税 引 前 当 期 純 利 益		38,904,474
法人税、住民税及び事業税		299,200
当 期 純 利 益		38,605,274

株主資本等変動計算書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位:円)

	株 主 資 本									純資産合計
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金				株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	80,000,000	161,900,000	61,900,000	223,800,000	20,000,000	50,500,000	△ 353,814,332	△ 283,314,332	20,485,668	20,485,668
当期変動額										
当期純利益							38,605,274	38,605,274	38,605,274	38,605,274
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	38,605,274	38,605,274	38,605,274	38,605,274
当期末残高	80,000,000	161,900,000	61,900,000	223,800,000	20,000,000	50,500,000	△ 315,209,058	△ 244,709,058	59,090,942	59,090,942